



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月9日

上場会社名 株式会社あじかん 上場取引所 東・大
 コード番号 2907 URL <http://www.ahjikan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 登
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務推進本部長 (氏名) 樋口 研治 TEL 082-277-7010
 兼 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,555	2.9	175	—	143	—	70	—
24年3月期第1四半期	8,311	4.3	△82	—	△112	—	△87	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 96百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △76百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	9.27	—
24年3月期第1四半期	△11.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	16,962	8,805	51.9	1,156.90
24年3月期	17,425	8,800	50.5	1,156.25

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 8,805百万円 24年3月期 8,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注2) 25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,600	3.0	210	115.9	260	—	120	—	15.77
通期	36,200	2.7	720	△2.3	770	4.2	370	8.5	48.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、[添付資料] 3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	7,700,000株	24年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	88,961株	24年3月期	88,861株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	7,611,105株	24年3月期1Q	7,611,339株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料] 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9
(7) その他の注記事項	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に、緩やかながら回復の兆しも見られるようになりました。しかしながら、欧州債務危機や長期化する円高などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても消費者の節約志向は強く、同業他社との低価格競争が続くなか、高止まりする原油・穀物価格などが企業収益を圧迫し、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは第9次中期経営計画をスタートさせ、変化の激しい時代に対応するため、第一に「商品の研究開発と技術開発の強化」、第二に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第三に「利益構造の改善」、第四に「全社供給体制の強化と効率化」、第五に「経営効率・経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを開始いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,555百万円（前年同四半期比2.9%増加）、営業利益は175百万円（前年同四半期は営業損失82百万円）、経常利益は143百万円（前年同四半期は経常損失112百万円）となり、四半期純利益は70百万円（前年同四半期は四半期純損失87百万円）となりました。

なお、セグメント別では、営業部門におきましては、特に東日本エリアにおいて、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、弁当店を中心に厚焼玉子や野菜加工品、自社企画ブランドなどの需要が増加し、売上・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。また、平成22年12月に新規事業の一環として立ち上げた「ごぼう茶」ならびに関連製品の売上高につきましても、様々なイベント活動などにより、当初計画を上回る状況で推移しております。

他方、生産部門におきましては、原油価格や穀物価格の高止まりに起因した副材料・補助材料費の上昇はありましたが、製品売上の拡大に伴い生産高が増加したことに加え、主に当社の主要原材料である鶏卵価格が、需給の関係で前年同四半期に比べ大きく低下したことにより、製造原価率は前年同四半期を下回りました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ462百万円減少し16,962百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ464百万円減少し9,411百万円となりました。主な減少要因は借入金の返済や法人税等の支払に伴う現金及び預金の減少145百万円、受取手形及び売掛金の減少342百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1百万円増加し7,551百万円となりました。これは減価償却の進行や投資有価証券の時価評価などによる減少要因はありましたが、主に、生産設備の増強投資による機械及び装置を新規取得したことによりです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ467百万円減少し8,157百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ372百万円減少し7,024百万円となりました。主な増減要因は、賞与引当金の増加231百万円、短期借入金の返済による減少471百万円、未払法人税等の減少63百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ94百万円減少し1,132百万円となりました。主な減少要因は長期借入金の減少91百万円などです。

なお、当第1四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ562百万円減少し2,993百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4百万円増加し8,805百万円となりました。主な増減要因は、四半期純利益の計上70百万円、剰余金の配当による減少91百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.4ポイント上昇し51.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間までの業績は、主に、当社グループの主要原材料である鶏卵価格が当初見込み以下で推移したことにより、営業利益段階では当初予想を若干上回る状況となっております。

しかしながら第2四半期以降につきましては、穀物価格の再上昇による派生コストの増加懸念や為替の変動など業績に与える流動的な要素も多いため、現時点において、平成24年5月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、新規設立により株式会社あじかんアグリファームを連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第1 四半期連結会計期間 (平成24年 6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,539,402	1,393,545
受取手形及び売掛金	※ 5,420,804	※ 5,078,027
商品及び製品	1,867,695	1,892,634
仕掛品	7,489	5,117
原材料及び貯蔵品	741,869	673,439
繰延税金資産	135,624	216,438
その他	182,882	168,823
貸倒引当金	△19,894	△16,776
流動資産合計	9,875,874	9,411,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,641,612	1,627,443
機械装置及び運搬具（純額）	954,220	1,023,975
土地	2,957,295	2,957,295
リース資産（純額）	58,621	73,512
その他（純額）	223,989	197,998
有形固定資産合計	5,835,739	5,880,226
無形固定資産		
リース資産	57,556	53,205
ソフトウェア	150,632	136,021
その他	24,703	25,971
無形固定資産合計	232,892	215,199
投資その他の資産		
投資有価証券	550,071	480,357
繰延税金資産	84,194	101,960
その他	864,288	891,865
貸倒引当金	△17,708	△18,256
投資その他の資産合計	1,480,845	1,455,926
固定資産合計	7,549,477	7,551,351
資産合計	17,425,352	16,962,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※ 2,627,536	※ 2,680,365
短期借入金	2,978,700	2,507,400
未払法人税等	218,315	155,161
賞与引当金	266,000	497,000
役員賞与引当金	26,046	9,984
リース債務	79,485	79,621
その他	1,200,927	1,094,852
流動負債合計	7,397,012	7,024,385
固定負債		
長期借入金	577,400	486,000
退職給付引当金	149,040	141,045
役員退職慰労引当金	306,516	311,409
資産除去債務	43,454	43,597
リース債務	151,569	150,933
固定負債合計	1,227,981	1,132,985
負債合計	8,624,993	8,157,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	6,756,739	6,735,943
自己株式	△64,219	△64,300
株主資本合計	8,893,759	8,872,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,758	△387
為替換算調整勘定	△131,158	△67,265
その他の包括利益累計額合計	△93,400	△67,653
純資産合計	8,800,359	8,805,230
負債純資産合計	17,425,352	16,962,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	8,311,460	8,555,902
売上原価	6,529,536	6,427,683
売上総利益	1,781,923	2,128,218
販売費及び一般管理費	1,864,754	1,953,039
営業利益又は営業損失(△)	△82,830	175,179
営業外収益		
受取利息	506	470
受取配当金	4,503	5,167
通貨スワップ評価益	3,329	9,710
持分法による投資利益	6,396	7,190
その他	1,835	9,897
営業外収益合計	16,571	32,436
営業外費用		
支払利息	8,823	8,467
為替差損	24,249	22,049
長期為替予約評価損	11,768	32,976
その他	1,512	622
営業外費用合計	46,355	64,116
経常利益又は経常損失(△)	△112,614	143,499
特別利益		
投資有価証券売却益	—	895
特別利益合計	—	895
特別損失		
固定資産除却損	661	3,615
投資有価証券評価損	3,550	—
特別損失合計	4,211	3,615
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△116,826	140,779
法人税、住民税及び事業税	39,973	149,754
法人税等調整額	△69,457	△79,513
法人税等合計	△29,483	70,240
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△87,343	70,538
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△87,343	70,538

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△87,343	70,538
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△17,550	△38,146
為替換算調整勘定	20,117	38,881
持分法適用会社に対する持分相当額	8,212	25,012
その他の包括利益合計	10,780	25,747
四半期包括利益	△76,563	96,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76,563	96,285
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,311,460	—	8,311,460	—	8,311,460
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	449	2,212,957	2,213,406	△2,213,406	—
計	8,311,909	2,212,957	10,524,866	△2,213,406	8,311,460
セグメント利益又は損失(△)	536,845	△55,603	481,242	△564,072	△82,830

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△564,072千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△512,709千円及びたな卸資産の調整額△50,778千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,555,902	—	8,555,902	—	8,555,902
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	87	2,450,192	2,450,279	△2,450,279	—
計	8,555,989	2,450,192	11,006,181	△2,450,279	8,555,902
セグメント利益	548,259	145,777	694,036	△518,857	175,179

(注) 1. セグメント利益の調整額△518,857千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△506,892千円及びたな卸資産の調整額△1,004千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

(7) その他の注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	18,240千円	10,529千円
支払手形	133,205	172,867

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	157,565千円	136,637千円